

国際環境経済学科		教授	藤山 英樹	大学院の授業担当 有
<b>教育活動</b>				
教育実践上の主な業績		年月日	概要	
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)				
1	演習	2000年～	理論的な専門書での輪読とは並行して、各ゼミ生が論文を書くために必要な情報のとらえ方、問いの立て方を出来るようにしている。また、英語で専門知識を得る機会も増やすようにしている。	
2	計量経済学	2000年～	毎回授業の最初に小テストを行い、前回の授業の復習をして、数理的な内容の修得が苦手な学生に対して、授業内容が定着するようにしている。	
3	ミクロ経済学	2000年～2018年	経済学の理論的な基礎となる分野を学ぶ科目であるが、各概念の関係がわかるように、単なる各項目の暗記ではなく、授業の全体としてストーリーができるように心がけている。授業後に質問がしやすいようにあえて教室から出て行く時間を遅くしている。このため、複数の学生が授業後に質問に来ている。	
4	ゲーム理論	2012年～	高度に理論的な側面もあるが、他方で、意思決定の学問でもある。したがって、学生に実際に数多くの意思決定をしてもらい、双方向的な授業を試みている。	
2 作成した教科書、教材、参考書				
1	『統計学からの計量経済学入門』、藤山英樹、昭和堂	2007年	このテキストでは、社会現象を単純化して認識するためのツールであるというコンセプトのもとで、基本的なトピックスを詳細に解説した。特に、数学の初心者がつまずきやすい計算式の展開も文系学生が独習可能なほどまで詳しく記述した。	
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等				
4 その他教育活動上特記すべき事項				
<b>学会等および社会における主な活動(学外の委員、役職等)</b>				
年月日		活動内容		
～現在		日本経済学会会員		
～現在		数理社会学会会員		
～現在		日本統計学会会員		
～現在		日本行動計量学会会員		
～現在		経済統計学会会員		
～現在		経済理論学会会員		
～現在		INSNA (International Network for Social Network Analysis)		
2012年～2015年		さいたま地方裁判所委員会 委員		
2012年～2015年		草加市立小中学校通学区区域審議会 委員		
2018年～現在		草加高校評議員		
2018年～現在		草加市学園台自治会 会長代行		
<b>その他</b>				
科学研究費助成事業: 2001年4月、科学研究費補助「基盤研究(A) コミュニティ情報流通プラットフォームの構築」研究分担者、2002年3月まで。 2002年4月、科学研究費補助「基盤研究(B) 秩序問題への進化ゲーム理論的アプローチ」研究分担者、2005年3月まで。 2008年4月、科学研究費補助「新学術領域研究(研究課題提案型) 実験室実験と仮想社会実験による制度分析」研究分担者、2011年3月まで。				